

選手が互いを理解し、支え合う 車いすバスケットボール

車いすバスケットボールは、一般のバスケットボールとコートの広さもゴールの高さも同じ、基本ルールもほとんど同じです。大きく異なるルールは、障害の程度によって持ち点が設定されていて、コート上の5選手の合計持ち点が決められていることです。あえて障害の重い選手が敵陣にとどまり、相手チームの進路を妨害して味方を助けるプレーをしたり、チームが勝つためにそれぞれの障害の特徴を選手同士が理解し、支え合いながら戦術を組み立てていく、そこに車いすバスケットボールの魅力があります。



▲同時開催の小学生大会の様子

激しくぶつかり合う、迫力とスピード

応援
しよう!

北九州チャンピオンズカップ 国際車いすバスケットボール大会

開催期間 令和4年12月16日(金)・17日(土)

会場 総合体育館(八幡東区八王寺町)

参加チーム 日本・韓国

入場料 無料

同時開催 ■全日本ブロック選抜車いすバスケットボール選手権大会
12月16日・17日
■北九州市小学生車いすバスケットボール大会
12月15日(木)

問い合わせ 北九州チャンピオンズカップ
国際車いすバスケットボール大会実行委員会事務局
☎922・1432 ☎922・1434

※開催期間や参加チームは変更になる場合があります。



見どころ
&応援

一般のバスケットボールとの違いの一つは「車いす」。一般の車いすと異なり、タイヤは「ハ」の字に取り付けられ、細やかな動きができます。また「幅」があるため、幅を使って相手の守備の動きを止め、味方のシュートの機会を作り出すことも。車いすを使いこなした数々のテクニックに注目すると競技観戦がもっと楽しくなります。

選手宣誓では、声も心も震えました



北九州 足立クラブ
山口 音耶さん

車いすバスケットボールを始めて6年、「いつかは出たい」と願っていた「全日本ブロック選抜車いすバスケットボール選手権大会」に、昨年ついに出場を果たしました。しかも選手宣誓の大役まで担うことに。パラリンピックの影響で注目度が高く、ものすごく緊張しました。肝心の試合の結果はいまひとつでしたが、素晴らしい経験になりました。試合では「味方を生かすプレー」、つまりシュートチャンスを作り出すプレーに注力しています。こうした技術も含め、見どころ満載の車いすバスケットボール。見学や体験練習に参加した人はハマります。ぜひ、見に来ませんか。



選手たちに力と勇気をもらっています



恵良 隆さん

「北九州チャンピオンズカップ国際車いすバスケットボール大会」の運営ボランティアに参加して、そろそろ20年。最初は数百人程度だった観客も今では5千人を超えるまでに。新型コロナウイルスの影響で久しぶりに開催される今年の大会を、ぜひ成功させようと、高校生から70代まで約100人のボランティアが思いをひとつに、半年前から準備を進めています。初めての人には、活動の合間に試合を見るように勧めています。ハンディをものともせず死力を尽く選手たちの姿からは力と勇気をもらえます。選手と直接触れ合うことはありませんが、試合後のあいさつなどで感謝の言葉をいただけた時は、ボランティアを続ける喜びを改めて実感します。

ボランティアの
問い合わせ

☎北九州チャンピオンズカップ国際車いす
バスケットボール大会実行委員会事務局
☎922・1432 ☎922・1434

ふうせんバレーボール・車いすバスケットボールの
見学・体験希望の問い合わせ

☎障害者スポーツセンター☎922・0026
聴覚障害者は☎922・0041

この特集に関するお問い合わせ 保健福祉局障害福祉企画課 ☎582・2453